

われわれが暮らしている国土の地理的条件・自然条件について、われわれは十分に理解しているつもりである。しかし、日本の国土だけを対象に勉強したのでは、理解していることにはならない。

わが国が経済的に競争しているヨーロッパの中心部やあるいは北アメリカ・中国の中原部あたりとの比較の中で、わが国の国土条件の特徴を列記してみると、彼らにはないいくつかの厳しい自然条件がわれわれに与えられているということが分かる。

「日本人を育んだ国土の地理的条件・自然条件」シリーズ今回のテーマは「⑨日本列島が台風の通り道に沿うように存在していること」と「⑩国土面積の半分以上が積雪寒冷地域にあること」である。

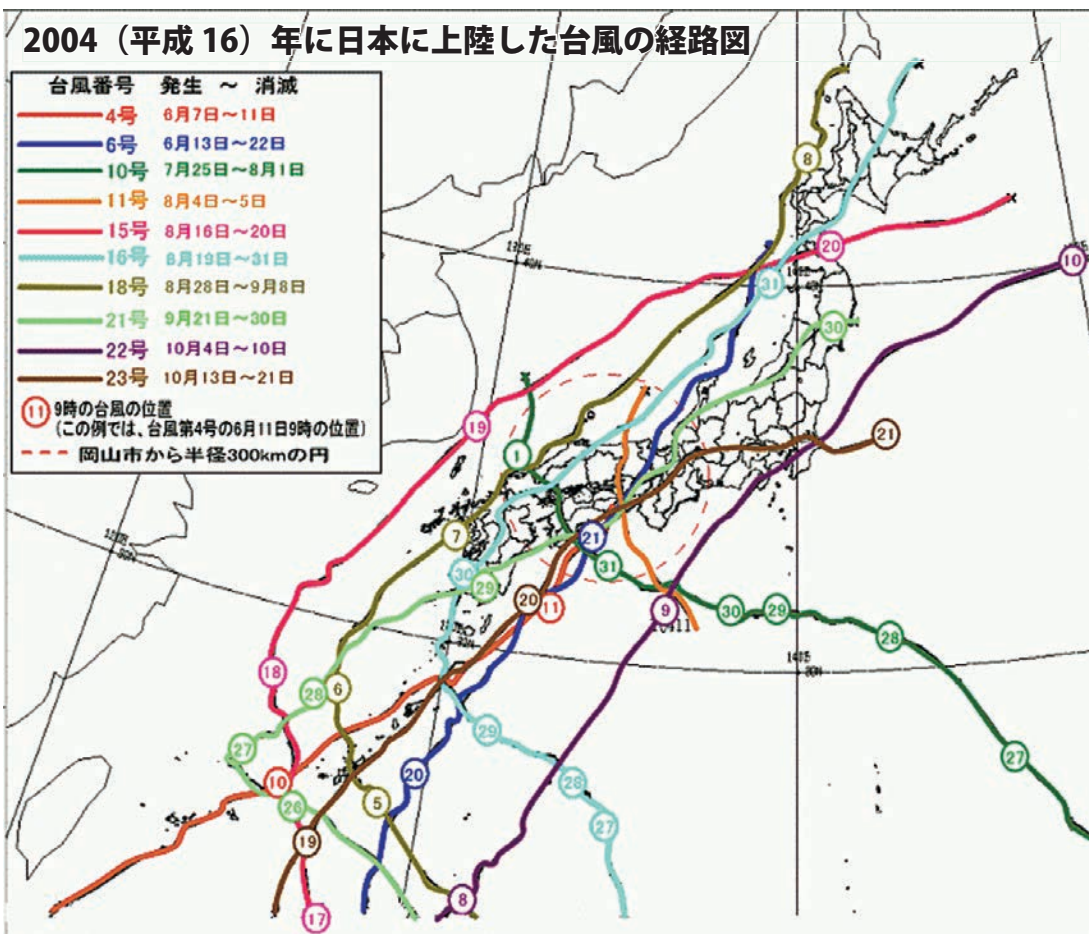
### ⑨ 強風の常襲地帯

9番目の特徴は、日本列島が台風の通り道に沿うように存在しており、従ってわが国は台風の常襲地帯にあること、そして台風はほとんどの場合、大変な強風を伴うことである。ここでは、強風について説明したい。

2004年は、わが国への上陸台風が10にもなるといって、近年稀な台風年であった。これらの台風のうち八つが瞬間最大風速毎秒50以上の強風を伴った。そのうち三つの台風ではそれが毎秒60以上にもなった。

わが国で建物や橋を設計す

# 台風と積雪の脅威



最近、わが国ではエネルギー供給源を自然由来のものに求めるべきだ、との議論が盛んで、太陽光発電や風車などの発電施設をつくることを促進すべきだ、と主張する人が多し。しかし、わが国に建設

⑩ 広大な積雪寒冷地域  
 10番目の特徴は、わが国の国土面積の半分以上が積雪寒冷地域にあることである。

わが国より寒冷な地域に大都市が存在する例は、ロシア・カナダなど世界にいくつもあるが、これだけの豪雪地に大人口を抱える都市を持つ国は存在しない。冬ごもりで冬をやり過ごせば良い時代とは異なり、冬場でも活発に経済活動を行わなければならない時代になってくると、この豪雪の克服は、われわれにとつ

る際に、こうした強風が吹くという条件を考慮しなければならぬ。これは、ヨーロッパでは台風やハリケーンのような強風が襲うことがないというのに比べ、きわめて不利な条件になっている。

そのために、そうした施設はかの国のものに比べ、かなり丈夫で、高価なものにならざるを得ない。まして、彼らの国にはない地震や軟弱地盤という条件も加わるから、なおのことである。

帯という全く事情の異なる二つの地域に分割されている。国土面積の60%が積雪寒冷地帯にあり、かつ年間累積降雪量が4mを超える豪雪地帯に50万人を超える大都市が存在している。

わが国より寒冷な地域に大都市が存在する例は、ロシア・カナダなど世界にいくつもあるが、これだけの豪雪地に大人口を抱える都市を持つ国は存在しない。冬ごもりで冬をやり過ごせば良い時代とは異なり、冬場でも活発に経済活動を行わなければならない時代になってくると、この豪雪の克服は、われわれにとつ

て大変な努力を要するものになっている。近年、幹線道路を中心に除雪が行われるようになり、冬の交通はなんとか確保されるようになったが、市町村道では十分でない場合も多い。地球温暖化で降雪量が減るとの楽観的な見通しが語られたこともあったが、最近では豪雪中心地が北上して、青森や北海道などでは観測史上始めて以来の大降雪がたびたび発生している。

2004 (平成16) 年に接近した台風による風の状況 (岡山、津山)

台風番号	地点	最大瞬間風速 (m/s)	風向	月日	時分	最大風速 (m/s)	風向	月日	時分
第6号	岡山	25	東	6月21日	5時59分	14.2	東	6月21日	7時30分
	津山	15.4	東	6月21日	9時46分	6.1	西南西	6月21日	17時20分
第10号	岡山	28.4	東北東	7月31日	19時02分	15.4	東	7月31日	19時10分
	津山	17.8	南	8月1日	12時11分	8.2	南東	8月1日	12時10分
第16号	岡山	38.5 (歴代2位)	南西	8月30日	23時51分	21.1 (歴代2位)	南西	8月31日	0時06分
	津山	34.4	東南東	8月30日	19時42分	14.7	東南東	8月30日	19時40分
第18号	岡山	33.8	南西	9月7日	17時28分	17.9	南西	9月7日	17時20分
	津山	37.8	東南東	9月7日	14時06分	16.6	東南東	9月7日	13時50分
第21号	岡山	33	北	9月29日	17時59分	16.3	北	9月29日	17時20分
	津山	19	北西	9月29日	18時56分	6.4	北	9月29日	21時00分
第23号	岡山	41.4 (歴代1位)	北東	10月20日	17時07分	21.2 (歴代1位)	北	10月20日	17時10分
	津山	50.4 (歴代1位)	北	10月20日	17時13分	18.2	北北西	10月20日	17時20分

<統計期間>岡山：1996年～2004年、津山：1951年～2004年 出典：いずれも気象庁

2014年には、積雪寒冷地域には含まれていない山梨県をはじめ、多くの地点で、観測史上最大の降雪量を記録した。冬でも無雪・乾燥・好天の日々を過ごすことができなくなる。東京・首都圏など太平洋側の人々は、日本海側が豪雪を引き受け、そこに暮らす人々が雪とともに、多湿で曇天の続く日々を耐えていることに感謝しなければならぬ。脊梁山脈で雪を落とさなければ、太平洋側にも必ずかなりの降雪があるはずだからである。

**国土が日本人の謎を解く**

本書は、わが国の地理的条件・自然条件だけでなく、われわれ日本人は何を経験し、何を体験しなかったのか？ それはヨーロッパやアメリカ、中国の人々とどう異なっているのか？ について学ぶことの出来る好著。

発行：産経新聞出版  
 定価：1300円＋税

大石久和著